

pick up 福岡県内の 団体・取り組み

県内には現在、約12のLGBTQ関連団体があり、交流会などが行われています。また、県や市町村のほかボランティアやNPO法人などによるイベントや啓発の取り組みもさまざま。今回はその一部をご紹介します。

Fukuoka Rainbow Educational Networks 任意団体「FRENS」

県内を中心に、誰でも参加できる交流会「にじだまり」での居場所づくり、イベント「やっぱ愛ダホ!」での啓発、電話でどんな話でもできる「フレンズライン」などで24歳以下の性的マイノリティをサポート。

フレンズライン(電話相談可)
☎080-9062-2416
※ 毎週日曜日 17:00～21:00



Kyushu Rainbow Pride 九州レインボープライド



世の中の差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指す啓発イベント。

九州レインボープライド 2019
11月4日(祝) 10:00～17:00
※パレードは14:00～
場所▶冷泉公園(福岡市博多区)

Sunflower Tagawa Alive Rainbow Space 任意団体「STARS」

田川市を拠点に、毎月第4土曜日に交流会「ひまわりの会」を開催。伊田商店街内の「Ritrovo CoCo ITA」には関連資料も設置し、一人ひとりの性のあり方を考えます。どなたでもお気軽にお越しください。

第28回ひまわりの会(交流会)
9月28日(土) 13:30～16:00
場所▶Ritrovo CoCo ITA(伊田商店街)



Kanagawa Junior High School Selfmade DVD 啓発 DVD「Like a Rainbow」

2015年に田川市立金川中学校放送部が制作したDVD。性的マイノリティのかたへのインタビューなどをとおしてLGBTQについて基礎から学べる内容です。田川地区人権センターで無料で貸し出ししています。

田川地区人権センター
☎0947-28-5230
所在地▶福智町人権のまちづくり館内



人権のまちづくり講座

人権と福祉のまちづくりを目指して、年数回開催される講座。毎回さまざまな人権課題をテーマにしており、昨年度ほのぼの館で行われた小野さんの講話も大変好評でした。誰でも無料で参加できます。

「以前、私は自分の性自認が誰からも尊重されないことに苦しみ、自分が嫌な思いをするのは自分の性の在り方のせい、仕方がないことなんだ」と思っていました」と語る小野アンリさんは、女性として生まれた身体と生き方が一致しないトランスジェンダー。多くの人と関わってきた中で「傷つく人がいることを、仕方がない」と思わせるような社会を作ってはいけな

「自分には自分の、当たり前が大切なのは「お互いの当たり前」を尊重すること」
「以前、私は自分の性自認が誰からも尊重されないことに苦しみ、自分が嫌な思いをするのは自分の性の在り方のせい、仕方がないことなんだ」と思っていました」と語る小野アンリさんは、女性として生まれた身体と生き方が一致しないトランスジェンダー。多くの人と関わってきた中で「傷つく人がいることを、仕方がない」と思わせるような社会を作ってはいけな

あるように、相手には相手の、当たり前があります。相手の、当たり前が少数派である時、そればかりが目についてしまうこともあるかもしれません。でも、その人のいろいろな部分を知り、それぞれの、当たり前を尊重しながらコミュニケーションをとっていければ、良い関係が築けると思います」と小野さん。

入場無料

2019.9 人権のまちづくり講座

LGBTQを知っていますか?

～一人ひとりが自分らしく生きるために～

日時 9月25日(水) 19:00～

講師 小野アンリさん
(任意団体FRENS代表)

会場 公民館方城分館

〒福岡市ほのぼの館 ☎0947-22-6290

小野アンリさん Interview

1984年生まれ。福岡県内を中心とした性的マイノリティの子ども・若者の支援団体「FRENS」の代表。昨年、福岡市の「パートナーシップ宣誓制度」で、九州で第1号となる受領証が交付された。学校現場を中心に年間170回を超える講演活動なども行っている。

誰もが生きやすい社会へ



close up LGBTQ+

Let's READ ふくちのち所蔵 「性の多様性」の関連本

ふくちのち所蔵の「性の多様性」に関する本22冊から厳選した3冊をご紹介します!



LGBTQ+ 知っていますか?
日高庸晴(監修)・星野慎二他(著) / 少年写真新聞社

思春期のセクシュアルマイノリティや学校現場に望まれる対応などをQ&A形式で紹介した入門書。



「なっつう」ってなんだ?
ReBit(監修)・殿ヶ谷美由記(漫画) / 学研プラス

「なっつう」とは「みんなと同じ」であることでしょうか。「なっつう」という言葉を考えさせられる一冊。



職場のLGBT読本
柳沢正和・村木真紀・後藤純一(著) / 実務教育出版

誰もが気持ちよく働ける職場環境づくりへの具体的なアドバイスも盛り込んだ働く人必読の書。